

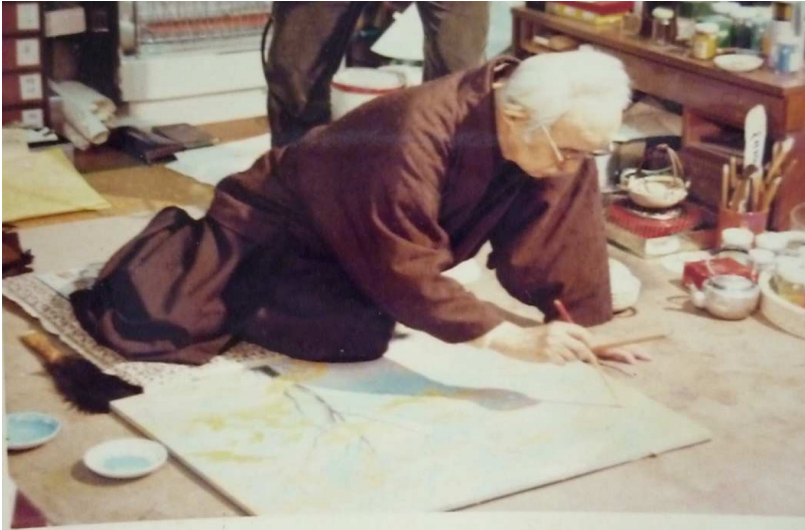
だいはいっけん
大発見

ちつきよう
“竹喬さんは

笠岡小学校 だいせんばい
kasaokasyouの大先輩

笠岡地区まちづくり協議会
文化部会・子ども新聞部

(その1)



ちつきよう
すがお
竹喬さんの素顔

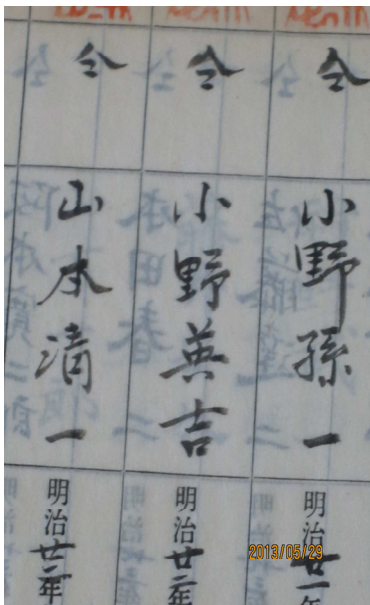
竹喬さんがアトリエで絵を描いていま
す。昭和五十三年の正月に岡山山陽放送
が特別番組で放送した時の写真の一枚で
す。その時、取材していた藤井育雄さん
が、写したものです。藤井さんが笠岡の
人だからなつかしくて写させてくれたそ
うです。

(四年 藤本春花・金山 愛)

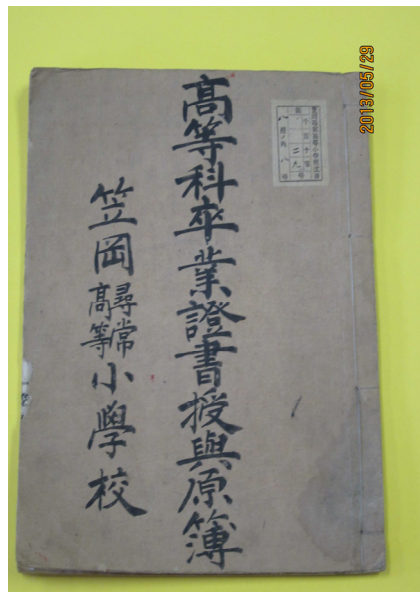
笠岡の人々から「竹喬さん」と親しみをもって呼
ばれている小野竹喬さんは、今から123年前の明
治22年に笠岡で生まれました。本名を「英吉」
といい、「竹喬」とは画家としての名前です。生ま
れた家は、JR笠岡駅のすぐ近くで、現在の中国
銀行笠岡駅前支店の北どなりにありました。竹喬
さんの家の中は日本画であふれていました。実は、
お兄さんは小野竹桃という日本画家でした。よい
環境で育った竹喬さんは、幼い時から絵筆を持つ
のが好きで、動物図鑑などをていねいに模写してい

たようです。また、家が海に近かったので、城山に登
って周囲の海を長い時間見つめることが楽しかった
ようです。竹喬さんは、14歳で日本画家の道歩き
始め、昭和54年に89歳で亡くなるまで、75年間、
日本の美しさを描き続けました。

昭和41年笠岡市名誉市民賞、51年文化勲章
受章、52年アサヒグラフ特別創刊号、53年岡山
山陽放送に出られています。笠岡市立竹喬美術館に
行くといつでも竹喬さんに会えます。



ちつきよう ほんみやう おの えいきち
竹喬さんの本名は小野英吉



そつぎょうしょうしよじゆよげんほひょうし
卒業證書授与原簿表紙

ちつきようせいいたん
竹喬生誕の地
表示板



(五年 佐藤美織・六年 後藤藍里)

金庫にあった卒業証書
笠岡小学校の職員室にある金
庫に、明治三十六年に卒業した
人の名簿がありました。真ん中
に「小野英吉」の名前があります。
わたしたちの大先輩です。胸を
張って自慢できます。

(六年 田中茉莉子)